



JARA NEWS

JAPAN AUTOMOBILE RECYCLE NETWORK NEWS

Vol.100 JUNE 2016

<http://www.jara.co.jp>

Published by JARA Corporation
Tokyo Head Office: Shinwa Bldg. 1-2-2-7F
Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo, JAPAN 103-0027
Phone: +81 3 3548 3010 / Fax: +81 3 3231 4690

『JARAニュース』が第100号を迎えました！

早いもので「JARAニュース」も第100号を迎えることが出来ました。現在では日本のみならず、アメリカ、カナダ、オーストラリア、中国、韓国、マレーシア、インド、モンゴルなどの国々でご愛読頂き、多くの皆様のご支援に厚く御礼申し上げます。

第1号は2008年2月に「SPNニュース」としてスタートして以来、これまでの間、「IRT国際会議」、「AAEFアジア自動車環境フォーラム」をはじめ、世界の自動車リサイクルビジネスの情報や激変する日本の自動車リサイクルビジネスの動向についてレポートして参りました。当社も(株)エコライン社と合併するなど企業再

編や統合、日本企業の海外進出など業界の動向は大きく変化しております。

このニュースを発刊するにあたり、(有)ジャン・コーポレーションの伊藤社長をはじめ、多くの皆様にご支援頂きましたことをここで改めて深く御礼申し上げますと共に、今後とも世界の自動車リサイクルビジネスにおける情報交換のニュースとなるようスタッフ一丸となり頑張つて参りますのでご期待下さい。

2016年6月

株式会社JARA

代表取締役社長 北島 宗尚



約2800平方メートルの敷地に本社専務所を移転新築した。

◆部位に応じて選別

本社移転の大きな効果のひとつが作業効率化だ。部品生産の際、同社は1台の使用済み車両から部品単位で国内向け、海外向け部品を選定する生産方式を採用する。多くの事業者ではおおまかに使用済み車1台ごとに国内向け、海外向けと分別する方式を採用している。同社が採用する方法では部位に応じて選別するため、手間はかかるが、需要先に合わせて部品を有効に販売できることが特徴だ。需要先を見据えた生産で、同社では生産部品の販売率は100%を維持している。

同生産方式では生産の前工程として、国内部品担当と海外部品担当が相談しながら1台の車両からどの部品をどこで販売するか相談し、生産指示書を作成する。このため、国内部品担当と海外部品担当の連携が重要となる。今回、本社の新築で各部門を集約できたことで、相互の連携が強化された格好だ。販売率100%を維持しつつ、部品倉庫の拡張で、販売量を拡大する。

部品の販売力を高める。

◆本社と工場を集約

同社は国内外に中古部品を販売しており、海外へはマレーシアやミャンマーなど4カ国へ販売している。全体の売り上げのうち、おおまかに国内の中古部品販売が5割、海外が3割で、残り2割が資源販売となっている。月間の取り扱い台数は250台をキープしており、国内外問わず、需要地へ中古部品を供給している。

同社はこれまで伊勢市に本社など、玉城町に処理工場を設置していたが、玉城町に本社と工場を集約した。約2800平方メートルの敷地に本社専務所や生産工場、部品倉庫を設置する。

JARA会員のご紹介

岡野自動車商会 本社事務所移転新築

■本社事務所を移転新築、動線重視し作業効率向上、国内外で部品販売強化

(有)岡野自動車商会(岡野功社長、三重県玉城町)はこのほど本社事務所を移転新築した。これまで場所を隔てていた国内部門と海外部門を集約し、相互の連携を強めることで、より効率的な部品生産につなげたい考えだ。さらに工場内は仕入れ車両や生産部品を効率的に運搬できる動線を重視し、作業スタッフの負担を軽減できるレイアウトとした。本社の新築で作業性をさらに高め、国内外で中古

株式会社リンクスジャパン www.links-jpn.com

<http://www.jara.co.jp/>

株式会社吉岡商店 〒649-6222 和歌山県新市市岡田575-1
Tel:07-3662-2229 Fax:07-3662-1518
Mail:info@yoshiokashoten.co.jp

有限会社セカンドパーツ 〒649-6222 和歌山県新市市岡田695
Tel:07-3661-5311 Fax:07-3661-5314



自動車リサイクルセンター



解体工場



パーツセンター内



ストックヤード

JARA会員のご紹介

石川商事 自動車リサイクル通じ エコロジー実践

石川商事（埼玉県川越市、石川将輝社長）は1959年に清掃、産廃業者として創業した。その後、将輝氏が2代目の社長として自動車のパーツセンターを開設。現在は自動車解体から中古部品、買い取りなどが主力事業になっている。

「自動車リサイクルを通じてエコロジーに貢献する」の実現を事業理念とし、日常の仕事の中で「お客様より廃車を頂ける喜び」「自動車リサイクルする喜び」「リサイクルパーツを販売する喜び」を感じ、自らの喜びをお客様にも反映できるように研鑽を積んでいる。

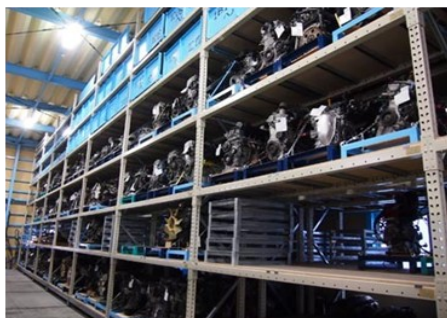
◆1人でのスタート

学校を卒業後、埼玉県内にある（有）昭和メタルに就職。2年間自動車のリサイクルについてのノウハウを学ぶ。「これから伸びる仕事をやりたい」と自らの意思でリサイクル業界に飛び込んだ。同社に戻りパーツセンターを立ち上げたのだ

←前ページを続く→

◆在庫点数7割増

新築に伴い、工場内もレイアウトの見



エンジンの収納棚は可動式とし、在庫可能点数を拡大した

が、当初はたった1人で自動車の解体、営業、梱包、配送などを行っていた。「まずは認知してもらうことが大事」と県内の自動車関連団体や企業を周り、プレゼン活動を行い、認知度を高めるなど販売先の獲得、輸出先の販路拡大に努めた。そうした努力が実り平成15年、初年度の売り上げが3500万円。現在では10億円を超える売り上げにまで成長した。

◆品質管理を徹底

「廃車買い取り」と「解体」、「中古パーツの販売」を同社の主力事業としており、品質管理の徹底を図り、例えば古くなり黄ばんだヘッドライトのガラスなども、きれいに磨き上げるなど、お客がすぐに使用できるクオリティに仕上げ販売している。また、解体事業は、約2千坪のストックヤードに常時300台を超える部品取り車両があり、ニーズに応えられる体制を整えている。実際の作業は、安全や環境配慮のルールを順守し、すべての工程に責任と目標を持つことで高品質なパーツ生産が可能となる。

◆共有・共感モットー

同社の社員は現在40人。平均年齢30歳と若い会社だけに社員の意思統一を図ることは重要で、目標達成には不可欠である。「共有・共感」をモットーに、毎朝の朝礼のほか、営業会議、責任者会議、執行部会議を行い目標到達への意思

直しによる作業効率化を目指した。仕入れ車両の入庫から解体、生産、在庫まで、一定の動線を通過するよう配慮した。部品倉庫も大幅に拡張。エンジンを収納する棚は前後に可動させるなど、敷地を有効活用し、全体の在庫可能点数は従来の1・7倍まで拡大した。

岡野社長は「在庫可能点数が増えたからといって、むやみに在庫を増やすのではなく、高い販売率にこだわりながら部品販売に努めたい」と話し、移転効果を高めていく考えだ。

（日刊自動車新聞4月28日）

を明らかにする。また今年には社員総会を2回予定している。そうした積み重ねで、これまで同社ではパーツ売り上げ、引き取り台数など業界が厳しい状況下でも右肩上がりに推移するほどの業績を上げている。「社員が同じベクトルで働くことが大事」（石川社長）と話す。

◆環境対策への配慮

一方、当面の課題は騒音や振動、環境対策など。まずは敷地内に環境や安全面に配慮した解体工場の新設を予定するなど設備投資を行う。「昼間は特に静かな所なので、ちょっとした音でも響いてしまう」と近隣に対しても気遣いが絶えない。またどうしても怪我が付き物の業界だけに、安全面にも徹底を図る。

また鉄スクラップなどの価格が下落したことや廃車の仕入れ競争が一段と激しくなっていることから買い取り事業の仕入れ体制を構築しながら、「オークションに車両を出品するのではなく、我々のような解体業者に車両を持ち込むメリットを打ち出したい」としている。同社では各売り上げを15～20%引き上げ月商1億円を目指す。

（日刊自動車新聞5月19日）

CO2削減数値(SPLシステム)

リユースパーツ使用による
CO2削減効果参考値
平成28年4月

3,152t

※一般、中・大型含む車を修理する際、新品部品を使用して修理する場合に出るCO2排出量とリサイクル部品を使用して修理する場合のCO2排出量の差がCO2削減数値になります。

一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会と早稲田大学環境総合研究センターがLCA（ライフ・サイクル・アセスメント）の考え方にに基づき共同開発した「グリーンポイントシステム」より参照。

KOBELCO

低燃費のコベルコ!
低炭素社会の実現へ

コベルコが提案する 新しい考え方

1979年世界初の自動車解体機の発売以来、
30年以上にわたって金属リサイクル分野で常にリードし、
環境負荷の低減に貢献してきました。

マルチ解体機

使用済み自動車の解体以外にも廃家電などの金属製機器の解体および
さまざまな複合廃棄物の解体・分別作業が可能です。



SK135SRD

SK210D

コベルコ建機株式会社
<http://www.kobelco-kenki.co.jp/>

KOBELCO

We Save You Fuel
Reducing a Carbon Society

New ideas come from KOBELCO

Since launching the world's first car-dismantling machine in 1979,
KOBELCO has continued to take the lead in the metals recycling industry.
For over 30 years, we have contributed to reducing environmental impact.

Multi-Dismantling Machine

In addition to dismantling end-of-life cars,
Multi-Dismantling Machine can break down
various metal products and equipment
such as used household appliances and
can separate and sort various composite
material wastes.

Car-Dismantling Machine

Car-Dismantling Machine efficiently
separates and sorts raw materials in
end-of-life cars and is able to recover
rare earth metals.



SK210D



SK210D

KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY EUROPE B.V.
<http://www.kobelco-europe.com/>
KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY U.S.A. INC.
<http://www.kobelco-usa.com/>

KOBELCO

神鋼 无坚不摧!
您满意的选择

新构想源于神钢

1979年世界第一台汽车拆除机发售以来，
30多年来一直引领金属再生领域，
在降低对环境压力方面功不可没。

多功能拆除机

不仅可以拆除不再使用的汽车，还可以
拆除废家电等金属制机器以及各种复合
废弃物品的拆除、分类作业。

汽车拆除机

可快速进行报废汽车内素材的分类作业，
能够回收稀金属资源。



SK135SR

SK200

成都神鋼工程机械(集团)有限公司
<http://www.kobelco-jianji.com/>

KOBELCO

We Save You Fuel
Reducing a Carbon Society

새로운 발상은 KOBELCO에서

1979년 세계 최초로 자동차 해체기를 출시한 이래,
30여 년에 걸쳐 금속 재활용 분야에서 항상 앞장서서
환경 부하 저감에 공헌해 왔습니다.

멀티 해체기

용도 폐기된 자동차의 해체 외에도 폐가전제품 등 금속제 기기의
해체 및 다양한 복합 폐기물의 해체·분리작업이 가능합니다.



SK135SR



SK200

(주)삼정건설기계
<http://www.samjung-kenki.co.kr/>



Go Go Japan Industry (M) Sdn Bhd

Lot 15, Jalan 4/32A,

Mukim Batu Industrial Area, 6½ Mile Off Jalan Kepong

52000 Kuala Lumpur, Malaysia.

Tel : 03-62415258 Fax : 03-62415285



高品質
High Quality
品质高超



低価格
Reasonable Price
价格合理



迅速なデリバリー
Speedy Delivery
交货迅速



優れたサービス
Excellent Service
服务卓越



For Enquiry, Please Contact / 询问洽购, 请联络 : 03-6241 5258

< Parts Supplying Fully Back Up by HIDA TEC Japan >

Tel : 025-539-1515

Email: narc-2001@helen.ocn.ne.jp



JOUETSU Branch

Tel : 025-274-1516

Email: narc-2004@ace.ocn.ne.jp



KAETSU Branch